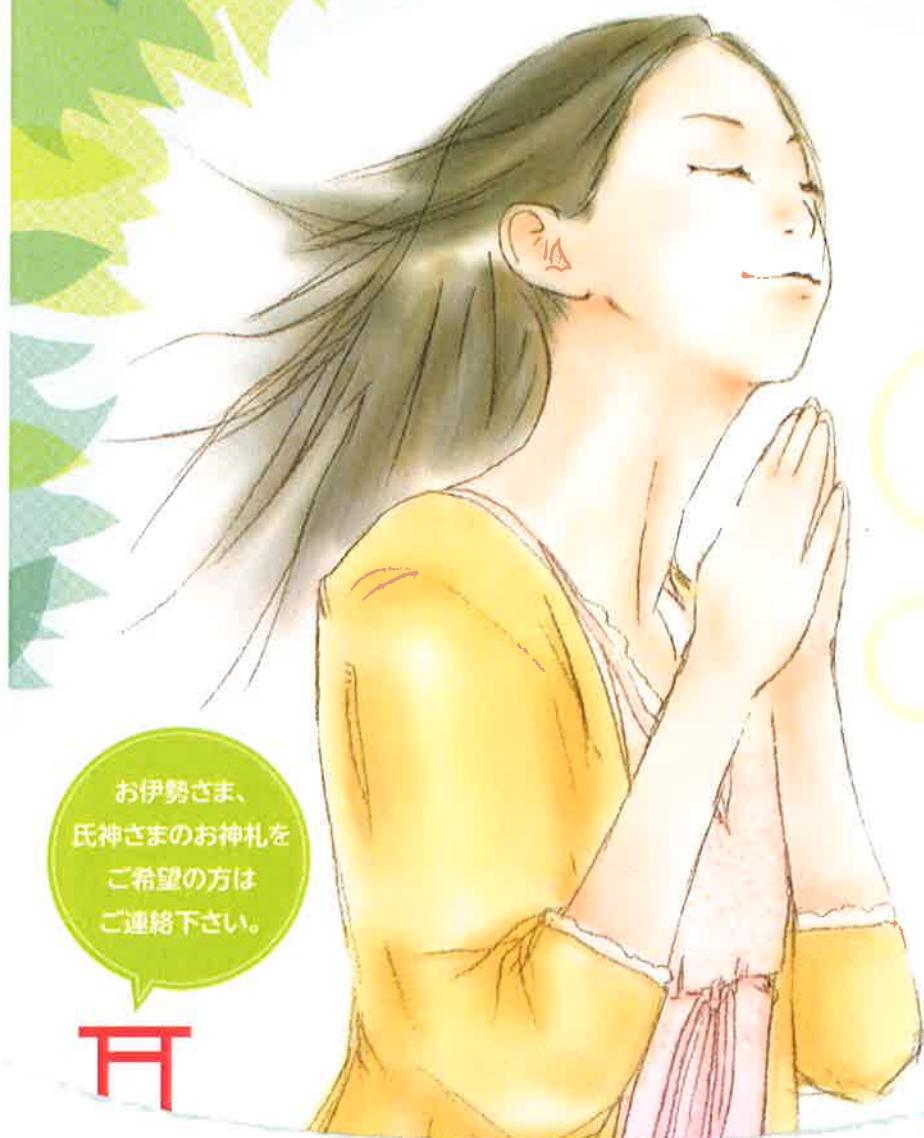


『祈りの場』の ある暮らし

はじめました。

大切な気持ちが

届きますように



⛩

※ご連絡先は裏面をご覧下さい。

伊勢神宮は、日本全国にたくさんある神社の中で特別なお宮で、最も尊い神さまである天照大御神をおまつりしています。天照大御神は太陽の光のように私たちの生命を守り、育んでくださる神さまです。

氏神さまは地域の守り神として全国各地の地域の神社でおまつりされている私たちの最も身近な神さまで、何世代にもわたってその地で私たちを守つてくれています。神棚に手を合わせ、感謝と祈りを捧げましょう。

家庭に不幸があった場合は、忌中などして、おまつりを遠慮します。忌の期間は五十日を自安とします。忌の期間が終われば、元の生活に戻るよう、神棚も通常のおまつりをしましょう。また、忌の期間が正月をはさむ場合は、忌が明けてから氏神さまからのお神札を受けましょう。尚、親戚の方が亡くなられた場合は、お葬式を出したお家でなければ、

服忌

として故人を偲び、神棚に半紙を貼る

年、人生の節目の年を厄年と言います。またその前後の年を前厄・後厄

と言い、神社にお参りをして、災厄を除けるために厄祓い(厄除)をします。

厄祓い

お神札のまつり方について知ってみよう!



お伊勢さまと氏神さま、崇敬する

神社のお神札をおまつりしましょう。神棚は居間や客間などの家族が親しめる明るく綺麗な部屋の天井近くに南向き、または東向きに設置します。神棚がない場合はタンスや本棚の上などを整えて綺麗な敷物を敷いておまつりしましょう。

お神札のまつり方

お伊勢さま、
氏神さまのお神札を
ご希望の方は
ご連絡下さい。

平成二十七年 厄年表

男性			女性		
前厄	本厄	後厄	前厄	本厄	後厄
24歳 (平成4年生)	25歳 (平成3年生)	26歳 (平成2年生)	18歳 (平成10年生)	19歳 (平成9年生)	20歳 (平成8年生)
41歳 (昭和50年生)	42歳 (昭和49年生)	43歳 (昭和48年生)	32歳 (昭和59年生)	33歳 (昭和58年生)	34歳 (昭和57年生)
60歳 (昭和31年生)	61歳 (昭和30年生)	62歳 (昭和29年生)	36歳 (昭和55年生)	37歳 (昭和54年生)	38歳 (昭和53年生)

*数え年は、誕生日前の場合は二歳、誕生日を迎えている場合は、一歳を足して計算します。